

南予地域柑橘農業復興対策チーム第24回会議の概要

令和8年7月2日（木）10：00～
県みかん研究所会議室及び現地

1 室内会議

- ① 営農再開状況：原形・改良復旧142箇所（10.7ha）は、全ての復旧工事が完了・植栽済みであり、令和8年度には、77箇所（昨年度：46箇所）で収穫予定。
 - ・再編復旧工事は、事業費ベースの進捗率が玉津地区で8割（昨年度：6割）、立間地区で5割（昨年度：3割）となっており、南柑20号のほか、紅プリンセスや媛小春などの植栽が順次開始されている。
- ② 営農支援状況：早期成園化に向け、土壌改良や施肥・かん水の徹底など、基本管理を周知徹底するとともに、土壌診断を実施し、数値の見える化による良好な土づくりを推進する。
- ③ 災害に強い園地づくり：大規模整備が困難な傾斜園地の防災力と作業性の向上を図る小規模な園地整備を推進。令和8年度は、新たに2地区（宇和島市）で実施するとともに、パンフレット等により農家に啓発し横展開を図る。
 - ・令和8年度から、畑かん施設に対する農家の知識や技術習得を支援し、速やかな応急復旧につながる事前復興体制の構築を図る。

2 現地研修

- ・令和8年3月に紅プリンセスなどが植栽された再編復旧園地（玉津地区 白浦B工区）を視察。



【令和8年3月に植栽した再編復旧園地視察（玉津地区 白浦B工区）】



【令和8年3月に植栽した園地】
（玉津地区 白浦B工区）



【チーム会議による情報共有】